

## a.介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

令和7年度第3回運協  
資料2-9

ページ 数	設問番 号	9期	10期	説明
3		あなたの現在の状態	介護認定の状況	文言修正
4	問1 (2)	新設	<p>(2) 現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)</p> <p>選択肢</p> <p>1. 職に就いたことがない</p> <p>2. 引退した</p> <p>3. 常勤(フルタイム)</p> <p>4. 非常勤(パート・アルバイト等)・</p> <p>5. 自営業</p> <p>6. 求職中</p> <p>7. その他・</p>	17ページ問9(7)今後の就労希望についての設問はあるが、現在の就労状態についての設問がなかったため新設
8	問4 【(3) 】で 「1」 を選択 した方 のみ】	<p>① 携帯電話やスマートフォンを利用していますか</p> <p>選択肢</p> <p>1 電話のみ利用</p> <p>2 メール・電話のみ利用</p> <p>3 メール・電話・ウェブ検索などを利用</p> <p>4 未利用</p>	<p>① 携帯電話やスマートフォンで操作可能なものを教えてください(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 電話</p> <p>2 メール</p> <p>3 ウェブ検索</p> <p>4 SNS(LINE等)</p> <p>5 アプリのダウンロード</p> <p>6 写真・動画撮影</p> <p>7 QRコード(読み取り・決済等)</p> <p>8 携帯・スマートフォンを持っていない</p>	携帯電話やスマートフォンの使用状況について、より詳しく確認するため変更。
8	問4 (8)	新設	<p>(8) 現在の耳の聞こえはどうですか</p> <p>選択肢</p> <p>1 よく聞こえる</p> <p>2 時々聞こえが悪い感じがある</p> <p>3 聞こえが悪いのでうまく会話できない</p> <p>4 ほとんど聞こえない</p>	耳の聞こえについて、コミュニケーションの不足等による認知症リスクが高まることや、補聴器を必要とする高齢者の割合等を確認するため新設。

a.介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

令和7年度第3回運協  
資料2-9

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
12	問6 (5)	(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (あてはまるものすべてに○)  選択肢 5 地域包括支援センター・役所・役場	(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (あてはまるものすべてに○)  選択肢 5 地域包括支援センター・市役所	選択肢の文言修正
14	問7 (5) ①	【(5)において「2」を選択した方のみ】 ① 習慣として運動していない主な理由を教えてください (あてはまるものすべてに○)  選択肢 1 病気 2 障害(脳卒中の後遺症等) 3 足腰等の痛み 4 トイレの心配(失禁等) 5 耳の障害(聞こえの問題等) 6 目の障害 7 外での楽しみがない 8 <u>経済的に出られない</u> 9 <u>交通手段がない</u> 10 その他( )	【(5)において「2」を選択した方のみ】 ① 習慣として運動していない主な理由を教えてください (あてはまるものすべてに○)  選択肢 1 病気 2 障害(脳卒中の後遺症等) 3 足腰等の痛み 4 トイレの心配(失禁等) 5 耳の障害(聞こえの問題等) 6 目の障害 7 外での楽しみがない 8 <u>運動することがおっくうだ(面倒だ)</u> 9 <u>運動する気持ちはあるが続けられない</u> 10 その他( )	習慣として運動していない理由を、より詳しく分析するため変更。

b.在宅介護実態調査

	ページ数	設問番号	9期	10期	説明
A票	4	問3	※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院（ <u>介護療養型医療施設</u> ）、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。	※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。	文言修正。 介護医療院（ <del>介護医療型医療施設</del> ）  介護医療型医療施設はなくなっているため削除。
	5	問6	介護保険サービスを利用することで、経済的な負担はどうになりましたか  選択肢 1 負担が軽減した 2 あまり変わらない 3 負担が増えた・ 4 大いに負担が増えた	削除	介護保険サービスを利用すると基本的には経済的負担が増えるため削除。
B票	10	問8	主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、 <u>仕事と介護の両立に効果があると思いますか</u> （3つまで選択可）	（案） 「仕事と介護の両立がしやすいと思いますか」	文言修正するか検討。 国のオプション設問のため、大幅な修正不可。

c.施設等利用者及び家族状況調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
8	問5 (4)	介護保険サービスを利用することで、経済的な負担はどうなりましたか  選択肢 1 負担が軽減した 2 あまり変わらない 3 負担が増えた・ 4 大いに負担が増えた	削除	b.在宅介護実態調査と同じのため説明省略。 介護保険サービスを利用すると基本的には経済的負担が増えるため削除。

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
2	問1 (3)	新設	<p>(3)該当するサービス種別（介護予防を含む）</p> <p>選択肢  1. 住宅型有料老人ホーム 2. 軽費老人ホーム（特定施設除く）  3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）  4. グループホーム 5. 特定施設  6. 地域密着型特定施設 7. 介護老人保健施設  8. 介護医療院 9. 特別養護老人ホーム  10. 地域密着型特別養護老人ホーム  11. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））  12. 小規模多機能型居宅介護 13. 看護小規模多機能型居宅介護  14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護  15. 通所介護（デイサービス） 16.通所リハビリテーション  17. 認知症対応型通所介護 18.通所型サービスB</p>	<p>該当するサービス種別を追加</p> <p>・居所変更実態調査の設問に回答してもらいたい事業所は、1～10</p> <p>・介護人材実態調査（11～18）の選択肢を設定。  介護人材実態調査は、「1. 施設・居住系サービス」と「2. 通所系サービス」のどちらか何う設問だが、居所変更の選択肢に合わせて、事業種別ごとに選択式とした。</p>
2	問1 (4)	(3) 職員体制	<p>(4) 職員体制</p> <p><u>うち外国人労働者数</u></p> <p><u>うち派遣職員</u></p>	<p>正規職員欄は、外国人労働者数を、正規職員以外欄は、外国人労働者数と派遣職員数を追加。  (介護人材実態調査)</p>
		<p>ここでは以下のとおり分類しますの説明文</p> <p>・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く）</p>	<p>・短時間労働者：労働時間が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く）</p>	文言修正
	問1 (5)	<p>定期健康診断の実施状況（労働安全衛生法規定）  常勤労働者、短時間労働者、登録ヘルパーそれぞれ「実施している」「実施していない」を選択</p>	削除	労働安全衛生法により実施する義務があるため削除。

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
3	問1 (6)	新設	短時間労働者・登録ヘルパーの勤務年数 1年未満 ( ) 人 1～3年未満 ( ) 人 3年以上 ( ) 人 ※( ) 人の数字の合計が(4)の短時間労働者、登録ヘルパーの合計となるようにご記入ください	多様な働き方が増加する中で、正規職員以外の方がどの程度の期間継続して勤務をしているのか確認。
3	問2	新設	貴事業所において安定的に事業所運営を行うにあたり、不足していると感じる職員数は、常勤換算で何人になりますか。 また、頭数では何人になりますか。 1. 常勤換算 ( ) 人 2. 頭数 ( ) 人 3. 不足していない	介護人材不足の状況を把握するため追加
3	問3	新設	貴事業所は開設から1年以上経過していますか 1. はい 2. いいえ	介護人材実態調査
3	問4	新設	過去1年間（令和7年2月1日～令和8年1月31日）に採用した人数、離職した人数を常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めて教えてください	介護人材実態調査 常勤、非常勤、短時間労働者の採用者数と離職者数
4	問5～問13	新設	2居所変更の実態について	居所変更実態調査 「問6 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。」の選択肢並び順については、後ほどサ高住調査の際にお伝えする順番に変更。

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
7	問14	<p>貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、事業所内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている</p> <p>2 他事業所と情報交換等の交流をしている</p> <p>3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等）</p> <p>4 事業所内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている</p> <p>5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている</p> <p>6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている</p> <p><u>7 虐待防止等に関して事業所全体の方針を設定し、管理者の責任を明確にしている</u></p> <p><u>8 虐待防止委員会等や相談窓口を設置し、担当者等を決めている</u></p> <p>9 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している</p> <p>10 家族等にサービスの内容を知らせている</p> <p>11 事業所の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用）</p> <p>12 その他（ ）</p> <p>13 特にない</p>	<p>貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、事業所内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている</p> <p>2 他事業所と情報交換等の交流をしている</p> <p>3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等）</p> <p>4 事業所内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている</p> <p>5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている</p> <p>6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている</p> <p>7 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している</p> <p>8 家族等にサービスの内容を知らせている</p> <p>9 事業所の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用）</p> <p>10 その他（ ）</p> <p>11 特にない</p>	<p>7 指針策定、8 虐待防止委員会は義務化されているので、選択肢から削除</p>

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
7	問15-1	新設	<p>講じていると選択した取組において、効果があったと思う取組はありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1 事故防止マニュアルの作成  2 事故防止研修の実施  3 事故防止ミーティングの実施  4 ヒヤリ・ハット報告の徹底  5 事故発生時の対応マニュアルの作成  6 救急車の呼び方マニュアルの作成  7 応急処置技能研修の実施  8 その他（ ）  9 特にない</p>	より詳しく分析するため、問15で講じている取組を選択したもののうち、効果があった取組についてを追加。
8	問17	<p>今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴事業所で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢  1 避難計画・方針の策定  2 避難訓練の実施  3 食料品等の備蓄  4 <u>災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成</u>  5 自治会等の地域組織との連携  6 その他（ ）  7 特にない</p>	<p>今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴事業所で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢  1 避難計画・方針の策定  2 避難訓練の実施  3 食料品等の備蓄  4 自治会等の地域組織との連携  5 その他（ ）  6 特にない</p>	「4 災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成」を削除。 マニュアル作成は義務付けられているため、選択肢から削除。



d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
9	問20	<p>貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>【経営面】</p> <p>1 事業所の経営理念の明確化</p> <p>2 提供するサービスの量的拡大</p> <p>3 提供するサービスエリアの拡大</p> <p>【人材面】</p> <p>4 人材の確保 5 従業員の労働条件の改善</p> <p>6 従業員への経営理念の周知徹底</p> <p>7 OJT（人材育成・教育）の充実</p> <p>8 外部研修への積極的な派遣</p> <p>9 障害者サービスへの対応・研修</p> <p>【サービスの質】</p> <p>10 各種マニュアルの作成 11 サービスの自己評価の取組</p> <p>12 利用者にとって有益な情報開示の推進・</p> <p>13 制度改正に対応した利用者への説明</p> <p>14 利用者にわかりやすい契約書の工夫</p> <p>15 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底</p> <p>16 サービス担当者会議への積極的な参加</p> <p>17 苦情処理対応の充実</p> <p>【連携】</p> <p>18 家族等介護者とのつながり</p> <p>19 福祉系事業者との連携</p> <p>20 医療系事業者との連携</p> <p>21 医療機関との連携</p> <p>22 地域包括支援センターとの連携</p> <p>23 ボランティアの受入れ、連携</p> <p>24 その他（ ） 25 課題はない</p>	<p>貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>【経営面】</p> <p>1 提供するサービスの量的拡大</p> <p>2 提供するサービスエリアの拡大</p> <p>【人材面】</p> <p>3 人材の確保 4 従業員の労働条件の改善</p> <p>5 OJT（人材育成・教育）の充実</p> <p>6 外部研修への積極的な派遣</p> <p>7 障害者サービスへの対応・研修</p> <p>【サービスの質】</p> <p>8 各種マニュアルの作成 9 サービスの自己評価の取組</p> <p>10 利用者にとって有益な情報開示の推進</p> <p>11 制度改正に対応した利用者への説明</p> <p>12 利用者にわかりやすい契約書の工夫</p> <p>13 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底</p> <p>14 サービス担当者会議への積極的な参加</p> <p>15 苦情処理対応の充実</p> <p>【連携】</p> <p>16 家族等介護者とのつながり</p> <p>17 福祉系事業者との連携</p> <p>18 医療系事業者との連携</p> <p>19 医療機関との連携</p> <p>20 地域包括支援センターとの連携</p> <p>21 ボランティアの受入れ、連携</p> <p>22 その他（ ）</p> <p>23 課題はない</p>	選択肢を精査し変更

d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
11	問23	<p>介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 介護報酬処遇改善加算はあっても、<u>職員の処遇改善にまでは回らない</u></p> <p>2 事業の安定運営が最優先で、<u>職員の処遇改善にまでは回らない</u></p> <p>3 介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない</p> <p>4 今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない</p> <p>5 その他（ ）</p> <p>6 特に課題はない</p>	<p>介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 介護報酬処遇改善加算の額が十分ではない</p> <p>2 事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善する余裕がない</p> <p>3 介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない</p> <p>4 今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない</p> <p>5 その他（ ）</p> <p>6 特に課題はない</p>	<p>文言修正。</p> <p>「1 介護報酬処遇改善加算の額が十分ではない」に変更。</p> <p>「2 事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善する余裕がない」に変更</p>
11	問24-1	<p>収入額が増減した理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 利用者数の増減</p> <p>2 利用者一人当たりの利用単価の増減</p> <p>3 提供サービスの拡大・縮小</p> <p>4 加算の取得</p> <p>5 その他（ ）</p>	<p>収入額が増減した理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 利用者数の増減</p> <p>2 利用者一人当たりの利用単価の増減</p> <p>3 提供サービスの拡大・縮小</p> <p>4 加算の取得</p> <p><u>5 報酬改定の影響</u></p> <p>6 その他（ ）</p>	<p>選択肢「5 報酬改定の影響」を追加</p>
13	問27	新設	採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）	介護人材実態調査
13	問28	新設	人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）	介護人材実態調査

#### d.介護保険事業者調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
14	問29-1	どのような支援があれば受審できると思いますか（あてはまるものすべてに○）  選択肢 5 <u>どんな支援があっても受審しない</u>	どのような支援があれば受審できると思いますか（あてはまるものすべてに○）  選択肢 5 <u>支援有無に関わらず受審しない</u>	文言修正。 5の選択肢を「支援有無に関わらず受審しない（理由： ））」とする。
14	問30	新設	貴事業所で勤務する介護職員から利用者または利用者家族から以下のようなハラスメント被害の報告を受けたことがありますか  選択 1 身体的暴力（物を投げる、蹴られる、唾を吐くなど） 2 精神的暴力（大声を発する、怒鳴る、特定の職員にいやがらせをする、理不尽なサービスを要求するなど） 3 セクシュアルハラスメント（必要もなく手や腕を触る、抱きしめる、あからさまに性的な話をするなど） 4 受けたことがない	ハラスメント質問新設。 職員、ケアマネジャーに聴取し、事業所と職員の認識の差を確認。
15	問30-1【問30で1、2を選択した方のみ】	新設	職員からハラスメント被害の報告を受けたとき、どのように対応しましたか。  選択肢 1 顧問弁護士相談 2 都（市）法律相談 3 都相談窓口 4 事業所内相談窓口 5 その他（ ）	ハラスメント質問新設。 職員、ケアマネに聴取し、事業所と職員の認識の差を確認。

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
2	問1 (3)	選択肢 1 国家資格等 (国家資格等の種類： )	選択肢 1 国家資格等	一部削除。 選択肢1の(国家資格等の種類： )を削除。
	問1 (4)	選択肢 2 常勤で兼務(兼務業務： ) 4 非常勤で兼務(兼務業務： )	選択肢 2 常勤で兼務 4 非常勤で兼務	一部削除。 選択肢2、4の(兼務業務： )を削除。
	問1 (8)	労働時間 週の所定労働時間( )時間	週の所定労働時間  選択肢 1 10時間未満 2 10～20時間未満 3 20～30時間未満 4 30～40時間未満 5 40時間超	文言修正。 回答者が記入する形式であったが、集計する際にある程度まとめてしまうので、回答者負担が減るように選択肢制に変更。
3	問1 (10)	令和4年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む)  選択肢 1 103万円未満 2 103万円～130万円未満 3 130万円～200万円未満 4 200万円～250万円未満 5 250万円～300万円未満 6 300万円～400万円未満 7 400万円～500万円未満 8 500万円～600万円未満 9 600万円以上 10 昨年は1年を通じて働いていない	令和7年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む)  選択肢 1 160万円未満 2 160万円～200万円未満 3 200万円～300万円未満 4 300万円～400万円未満 5 400万円～500万円未満 6 500万円～600万円未満 7 600万円～800万円未満 8 800万円以上 9 回答したくない 10 昨年は1年を通じて働いていない	収入額を変更。

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
		<p>3 サービスの供給について</p> <p>問6 介護支援専門員から見て、供給が不足していると感じられるサービスはありますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>問7 介護保険サービスのメニュー以外で、在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容がありますか(3つまで選択可)</p>	<p>3 サービスの供給について を削除し、別紙【在宅生活改善調査_利用者票】を追加</p>	<p>在宅生活改善調査 別紙</p>
5	問12-1	<p>介護予防プランの作成を受託する上で問題になっていることは何ですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 介護予防サービス計画書の作成が煩雑</p> <p>2 サービスが組みにくい</p> <p>3 受託件数が多く対応しきれない・</p> <p>4 その他( )</p> <p>5 問題になっていることはない</p>	<p>介護予防プランの作成を受託する上で問題になっていることは何ですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 介護予防サービス計画書の作成が煩雑</p> <p>2 人材不足により、サービス提供予定が組みにくい</p> <p>3 受託件数が多く対応しきれない・</p> <p>4 その他( )</p> <p>5 問題になっていることはない</p>	<p>文言修正。 選択肢2を「人材不足により、サービス提供予定が組みにくい」に変更</p>
5	問14	<p>新設</p>	<p>問14 あなたは、利用者または利用者家族から以下のようなハラスメントを受けたことがありますか</p> <p>選択肢</p> <p>1 身体的暴力(物を投げる、蹴られる、唾を吐くなど)</p> <p>2 精神的暴力(大声を発する、怒鳴る、特定の職員にいやがらせをする、理不尽なサービスを要求するなど)</p> <p>3 セクシュアルハラスメント(必要もなく手や腕を触る、抱きしめる、あからさまに性的な話をするなど)</p> <p>4 受けたことがない</p>	<p>ハラスメント質問新設。 介護支援専門員、介護職員の回答と、事業所の回答を照らし合わせ、認識の差を確認。</p>

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
6	問14－1 【問14で1から3を選択した方のみ】	新設	問14－1 【問14で1から3を選択した方のみ】 ハラスメント受けたことを、誰に相談していますか(あてはまるものすべてに○)  選択肢 1 職場の上司・同僚 3 保険者（国分寺市） 5 家族・親族 7 都（市）法律相談 9 その他( ) 2 職場の相談窓口 4 友人・知人 6 顧問弁護士 8 都相談窓口 10 相談していない	ハラスメント質問新設。 問13悩みの相談先の選択肢を参考にし、一部選択肢を追加。
6	問14－2 【問14－1で10を選択した方のみ】	新設	相談していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)  選択肢 1 忙しくて相談する時間がとれないから 2 職場内外とも相談体制が整っていないから 3 信頼できる相談相手がいないから 4 相談先がわからないから 5 相談しても無駄だから 6 自分で解決しているから 7 その他( )	ハラスメント質問新設。 設問、選択肢 問13-1と同じ。

e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
6	問15	<p>ケアマネジメントの質の向上に向けて、必要な知識は何だと思いますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 自治体毎の施策や担当部署等の知識</p> <p><u>2 成年後見制度に関する知識</u></p> <p><u>3 地域福祉権利擁護事業に関する知識</u></p> <p>4 住宅改修に関する知識</p> <p>5 医療・保健に関する知識</p> <p>6 障害者福祉制度に関する知識</p> <p>7 リハビリテーションに関する知識</p> <p>8 福祉用具の利用方法に関する知識</p> <p>9 高齢者虐待防止に関する知識</p> <p><u>10 病気(認知症等)、症状(麻痺・痛み・発作・日内変動等)、障害(高次脳機能障害等)に関する知識</u></p> <p><u>11 会話(コミュニケーション)技術</u></p> <p><u>12 地域のボランティア情報</u></p> <p>13 その他 ( )</p>	<p>ケアマネジメントの質の向上に向けて、必要な知識は何だと思いますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 自治体毎の施策や担当部署等の知識</p> <p><u>2 権利擁護に関する知識</u></p> <p>3 住宅改修に関する知識</p> <p>4 医療・保健に関する知識</p> <p>5 障害者福祉制度に関する知識</p> <p>6 リハビリテーションに関する知識</p> <p>7 福祉用具の利用方法に関する知識</p> <p>8 高齢者虐待防止に関する知識</p> <p>9 高齢者に多い疾患や障害に関する知識</p> <p><u>10 自立支援・重度化防止に関する知識</u></p> <p><u>11 地域の社会資源</u></p> <p><u>12 医療連携及び多職種協働に関する知識</u></p> <p>13 その他 ( )</p>	<p>一部の選択肢をまとめて、文言修正。</p> <p>11、12を削除し、</p> <p>「自立支援・重度化防止に関する知識」</p> <p>「地域の社会資源」</p> <p>「医療連携及び多職種協働に関する知識」を追加。</p>
6	問16	<p>ケアマネジメントの質の向上に向けて、さらに向上させたい知識は何ですか(あてはまるものすべてに○)</p>		<p>問15と同じのため省略。選択肢の変更。</p>

## e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
7	問17	<p>保険者(国分寺市)に対して不満に感じることは、どのようなことですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 受付場所が少ない</p> <p>2 窓口対応が悪い</p> <p>3 書類を郵送で処理できない</p> <p>4 各種手続きが煩雑</p> <p>5 申請から介護認定までの時間の長さ</p> <p>6 困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分</p> <p><u>7 制度に関する広報が少ない</u></p> <p><u>8 制度の経過説明が少ない</u></p> <p>9 訪問日と利用者宛書類の送付タイミングがずれる</p> <p>10 余計な通知が多い</p> <p>11 その他 ( )</p> <p>12 特にない</p>	<p>保険者(国分寺市)に対して不満に感じることは、どのようなことですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 受付場所が少ない</p> <p>2 窓口対応が悪い</p> <p>3 書類を郵送で処理できない</p> <p>4 各種手続きが煩雑</p> <p>5 申請から介護認定までの時間の長さ</p> <p>6 困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分</p> <p><u>7 制度に関する説明・広報が少ない</u></p> <p><u>8 事業者支援の情報提供が少ない</u></p> <p>9 訪問日と利用者宛書類の送付タイミングがずれる</p> <p>10 余計な通知が多い</p> <p>11 その他 ( )</p> <p>12 特にない</p>	<p>一部の選択肢をまとめて、文言修正。 「8 事業者支援の情報提供が少ない」を追加。</p>
7	問19	<p>保険者(国分寺市)が行う介護支援専門員への支援として、どのようなことを望みますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 各種研修の充実</p> <p>2 事例検討会の開催</p> <p>3 相談体制の強化</p> <p>4 地域の医療機関との連携</p> <p>5 認定審査会における付帯意見</p> <p>6 利用者や家族への介護保険制度の周知徹底</p> <p>7 事業者に対する指導の徹底</p> <p>8 インターネットによるケアマネ支援情報の発信</p> <p>9 高齢者虐待事例の相談・助言</p> <p>10 成年後見制度に関する相談・助言</p> <p>11 消費者被害に関する相談・助言</p> <p>12 その他 ( )</p>	<p>保険者(国分寺市)が行う介護支援専門員への支援として、どのようなことを望みますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>選択肢</p> <p>1 各種研修の充実</p> <p>2 事例検討会の開催</p> <p>3 相談体制の強化</p> <p>4 地域の医療機関との連携</p> <p>5 認定審査会における付帯意見</p> <p>6 利用者や家族への介護保険制度の周知徹底・</p> <p>7 事業者に対する指導の徹底・</p> <p>8 インターネットによるケアマネ支援情報の発信</p> <p>9 高齢者虐待事例の相談・助言</p> <p>10 成年後見制度に関する相談・助言</p> <p>11 消費者被害に関する相談・助言</p> <p><u>12 研修費補助等の補助金の交付</u></p> <p>13 その他 ( )</p>	<p>選択肢「12 研修費補助等の補助金の交付」を追加。</p>



e.介護支援専門員調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
8	問21	<p>次に挙げる人たちとの連携状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください</p> <p>選択肢</p> <p>(1)他の居宅介護支援事業所 (2)他の介護保険事業所 (3)地域包括支援センター (4)ボランティア・NPO (5)行政機関 (6)社会福祉協議会 (7)民生委員 (8)障害者基幹相談支援センター</p>	<p>次に挙げる人たちとの連携状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください</p> <p>選択肢</p> <p>(1)他の居宅介護支援事業所 (2)他の介護保険事業所 <u>(3)介護保険以外の事業所</u> <u>(4)医療機関</u> (5)地域包括支援センター (6)ボランティア・NPO (7)行政機関 (8)社会福祉協議会 (9)民生委員 (10)障害者基幹相談支援センター</p>	<p>選択肢「3 介護保険以外の事業所」「4 医療機関」を追加。</p>
8	問22	<p>問20の人たちとどのような連携を取っていますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p><u>1 勉強会、ケース検討会の共同開催</u> <u>2 利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携</u> 3 困難事例等の相談 4 その他( ) 5 特にない</p>	<p>問21の人たちとどのような方法で連携を取っていますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p><u>1 ケース検討会の開催、参加</u> <u>2 勉強会の開催、参加(共同開催含む)</u> <u>3 困難事例等の相談(複合的課題を抱える世帯への支援)</u> <u>4 地域資源に関する相談</u> 5 その他( ) 6 特にない</p>	<p>設問文の文言修正。</p> <p>選択肢 回答者が分かりやすいように文言修正。 「4 地域資源に関する相談」を追加。</p>

## f.介護職員等調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
2	問2 (2)	(2)現在取得している介護に関する資格(あてはまるものすべてに○)  選択肢 1 訪問介護員(ホームヘルパー)	(2)現在取得している介護に関する資格(あてはまるものすべてに○)  選択肢 1 訪問介護員(ホームヘルパー) <u>(実務者研修修了・初任者研修修了を含む)</u>	文言修正。 訪問介護員(ホームヘルパー)相当の2つの研修について説明書きを追記。
4	問4 (3)	ここでは以下のとおり分類しますの説明文  ・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方(登録ヘルパーを除く)	・短時間労働者：労働時間が、常勤労働者より少ない方(登録ヘルパーを除く)	文言修正。 短時間労働者の説明を介護保険事業者調査と揃えた
4	問4 (4)	(8)労働時間 週の所定労働時間( )時間	(8)週の所定労働時間  選択肢 1 10時間未満 2 10～20時間未満 3 20～30時間未満 4 30～40時間未満 5 40時間超	文言修正。 回答者が記入する形式であったが、集計する際にある程度まとめてしまうので、回答者負担が減るように選択肢制に変更。
4	問4 (6)	(10)令和4年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む)  選択肢 1 103万円未満 2 103万円～130万円未満 3 130万円～200万円未満 4 200万円～250万円未満 5 250万円～300万円未満 6 300万円～400万円未満 7 400万円～500万円未満 8 500万円～600万円未満 9 600万円以上 10 昨年は1年を通じて働いていない	(10)令和4年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む)  選択肢 1 160万円未満 2 160万円～200万円未満 3 200万円～300万円未満 4 300万円～400万円未満 5 400万円～500万円未満 6 500万円～600万円未満 7 600万円～800万円未満 8 800万円以上 9 回答したくない 10 昨年は1年を通じて働いていない	一部変更。e介護支援専門員調査と同じのため説明省略。

f.介護職員等調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
6	問10	新設	<p>問10 あなたは、利用者または利用者家族から以下のようなハラスメントを受けたことがありますか</p> <p>1 身体的暴力（物を投げる、蹴られる、唾を吐くなど）  2 精神的暴力（大声を発する、怒鳴る、特定の職員にいやがらせをする、理不尽なサービスを要求するなど）  3 セクシュアルハラスメント（必要もなく手や腕を触る、抱きしめる、あからさまに性的な話をするなど）  4 受けたことがない</p>	e介護支援専門員調査と同じのため説明省略。
6	問10-1	新設	<p>問10で1、2を選択した方  ハラスメントを受けたことを、誰に相談していますか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>1 職場の上司・同僚      2 職場の相談窓口  3 保険者（国分寺市）      4 友人・知人  5 家族・親族      6 顧問弁護士  7 都（市）法律相談      8 都相談窓口  9 その他(                      )      10 相談していない</p>	同上
6	問10-2	新設	<p>相談していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)</p> <p>1 忙しくて相談する時間がとれないから  2 職場内外とも相談体制が整っていないから  3 信頼できる相談相手がないから  4 相談先がわからないから  5 相談しても無駄だから  6 自分で解決しているから  7 その他(                      )</p>	同上

g.住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
2	問1 (3)	(3) 職員体制	(3) 職員体制 うち外国人労働者数 うち派遣職員	正規職員欄は、外国人労働者数を、 正規職員以外欄は、外国人労働者数と派遣職員数を追加 (介護人材実態調査)
2		ここでは以下のとおり分類します の説明文  ・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く）	・短時間労働者：労働時間が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く）	文言修正。
4	問5	以下の医療ニーズのうち、貴施設・住宅で受入れ可能なものをすべて選んで○をしてください。併せて、令和8年1月1日現在の利用人数をご記入ください  選択肢 (1) インスリン (2) 気管切開 (3) 中心静脈栄養 (4) バルーンカテーテル (5) 点滴の管理 (6) モニター測定 (7) 胃ろう (8) 鼻腔経管栄養 (9) たん吸引 (10) ペースメーカー (11) レスピレーター (12) 褥瘡の処置 (13) 透析 (14) 在宅酸素 (15) ストマ (16) 看取り (17) 疼痛の看護	以下の医療ニーズのうち、貴施設・住宅で受入れ可能なものをすべて選んで○をしてください。併せて、令和8年1月1日現在の利用人数をご記入ください  選択肢 (1) インスリン (2) 鼻腔経管栄養 (3) 中心静脈栄養 (4) 点滴の管理 (5) 胃ろう (6) バルーンカテーテル (7) ストマ (8) 気管切開 (9) 喀痰吸引 (10) ペースメーカー (11) レスピレーター (12) 在宅酸素 (13) 透析 (14) 褥瘡の処置 (15) モニター測定 (16) 看取り (17) 疼痛の看護(薬物療法) (18) 疼痛の看護(非薬物療法)	選択肢の順番を並び替え。  (17) 疼痛の看護について、 (薬物療法) (被薬物療法) に分けた。

## g.住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
6	問12	<p>今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴施設・住宅で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか （あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢            1 避難計画・方針の策定            2 避難訓練の実施            3 食料品等の備蓄  <u>4 災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成</u>            5 自治会等の地域組織との連携            6 その他（ ）            7 特にない</p>	<p>今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴施設・住宅で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか （あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢            1 避難計画・方針の策定            2 避難訓練の実施            3 食料品等の備蓄            4 自治会等の地域組織との連携            5 その他（ ）            6 特にない</p>	<p>d介護保険事業者調査と同じのため説明省略。</p> <p>「4 災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成」を削除。 マニュアル作成は義務付けられているため、選択肢から削除。</p>

g.住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
7	問13	<p>貴施設・住宅において、利用者の意思や尊厳の尊重、施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている</p> <p>2 他施設と情報交換等の交流をしている</p> <p>3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等）</p> <p>4 施設内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている</p> <p>5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている</p> <p>6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている</p> <p><u>7 虐待防止等に関して施設全体の方針を設定し、管理者の責任を明確化している</u></p> <p><u>8 虐待防止委員会等や相談窓口を設置し、担当者等を決めている</u></p> <p>9 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している</p> <p>10 家族等にサービスの内容を知らせている</p> <p>11 施設の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用）</p> <p>12 その他（                      ）</p> <p>13 特にない</p>	<p>貴施設・住宅において、利用者の意思や尊厳の尊重、施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている</p> <p>2 他施設と情報交換等の交流をしている</p> <p>3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等）</p> <p>4 施設内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている</p> <p>5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている</p> <p>6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている</p> <p>7 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している</p> <p>8 家族等にサービスの内容を知らせている</p> <p>9 施設の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用）</p> <p>10 その他（                      ）</p> <p>11 特にない</p>	<p>d介護保険事業者調査と同じのため説明省略。</p> <p>7 指針策定、8 虐待防止委員会は義務化されているので、選択肢から削除</p>

g.住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査

ページ数	設問番号	9期	10期	説明
8	問16	<p>貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>【経営面】</p> <p>1 事業所の経営理念の明確化</p> <p>2 提供するサービスの量的拡大</p> <p>3 提供するサービスエリアの拡大</p> <p>【人材面】</p> <p>4 人材の確保</p> <p>5 従業員の労働条件の改善</p> <p>6 従業員への経営理念の周知徹底</p> <p>7 OJT（人材育成・教育）の充実</p> <p>8 外部研修への積極的な派遣</p> <p>9 障害者サービスへの対応・研修</p> <p>【サービスの質】</p> <p>10 各種マニュアルの作成</p> <p>11 サービスの自己評価の取組</p> <p>12 利用者にとって有益な情報開示の推進・</p> <p>13 制度改正に対応した利用者への説明</p> <p>14 利用者にわかりやすい契約書の工夫</p> <p>15 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底</p> <p>16 サービス担当者会議への積極的な参加</p> <p>17 苦情処理対応の充実</p> <p>【連携】</p> <p>18 家族等介護者とのつながり</p> <p>19 福祉系事業者との連携</p> <p>20 医療系事業者との連携</p> <p>21 医療機関との連携</p> <p>22 地域包括支援センターとの連携</p> <p>23 ボランティアの受入れ、連携</p> <p>24 その他（ ）</p> <p>25 課題はない</p>	<p>貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）</p> <p>選択肢</p> <p>【経営面】</p> <p>1 提供するサービスの量的拡大</p> <p>2 提供するサービスエリアの拡大</p> <p>【人材面】</p> <p>3 人材の確保</p> <p>4 従業員の労働条件の改善</p> <p>5 OJT（人材育成・教育）の充実</p> <p>6 外部研修への積極的な派遣</p> <p>7 障害者サービスへの対応・研修</p> <p>【サービスの質】</p> <p>8 各種マニュアルの作成</p> <p>9 サービスの自己評価の取組</p> <p>10 利用者にとって有益な情報開示の推進</p> <p>11 制度改正に対応した利用者への説明</p> <p>12 利用者にわかりやすい契約書の工夫</p> <p>13 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底</p> <p>14 サービス担当者会議への積極的な参加</p> <p>15 苦情処理対応の充実</p> <p>【連携】</p> <p>16 家族等介護者とのつながり</p> <p>17 福祉系事業者との連携</p> <p>18 医療系事業者との連携</p> <p>19 医療機関との連携</p> <p>20 地域包括支援センターとの連携</p> <p>21 ボランティアの受入れ、連携</p> <p>22 その他（ ）</p> <p>23 課題はない</p>	<p>※変更漏れ。</p> <p>介護保険事業者調査と合わせて選択肢を変更します。</p>